

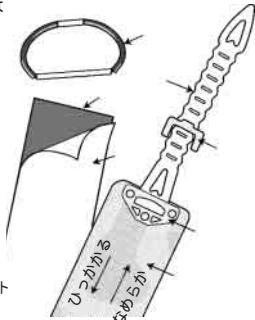
グライドライトスキン 取り扱い説明書

本製品をご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み下さい。

保管と手入れ

1. スキンは接着面どうしを貼り合わせて保管して下さい。スキンを真ん中で折り曲げ、末端に向かって接着面が露出しないようにぴったりと貼り合わせて下さい。接着剤を傷めますので接着面を剥き出しのまま保管しないで下さい。
2. 貼り合わせたスキンは三つ折りにし、スタッフバッグに収納するかストラップでまとめて保管して下さい。
3. スキンを長い期間保管するときは接着面どうしをぴったり貼り合わせ、32 以下の場所に保管して下さい。
4. -18 以下の寒冷地でもスキンは機能しますが、暖めるとより接着力が向上します。スキンを使用しない間はジャケットの内側に入れ、体温で暖めると効果的です。
5. スキンの接着面に雪が付かないように注意して下さい。
6. スキンを乾燥させるために直火やストーブなどの火気を使用しないで下さい。
7. スキンを取り付ける前にスキーの滑走面に付いている水分を完全に拭き取って下さい。
8. スキンに凍り付きが生じる場合は別売のアセンション・ゴアテックス®スプレーやグロブストップワックスを使用し、撥水性を回復させて下さい。
9. スキンの接着面の塗り直しが必要な場合は必ずグライドライト・グルーリニューを使用し、アセンション・スタンダード・グルーリニューは使用しないで下さい。

- 取り付けループ
- クラッチストラップ
- 接着面
- リリークスペーサー
- テルカム
- リベットプレートアタッチメント
- 滑走面



使用方法

スキーのウェスト(最も狭い部分)より幅が狭いスキンの場合、トリムせずに使用できます。スキーの先端(最も広い部分)より幅が広いスキンの場合、スキーのサイドカットに合わせてトリムして使用して下さい(スキンのトリム方法参照)。

アセンション・ゴアテックス®スプレー

ゴアテックス®スプレーはスキンの滑走性を高め、滑走面の凍り付き、雪の付着などを防ぐ効果があります。ツアーに出かける前日に、滑走面の水分を完全に拭き取ってからスプレーして下さい。

使用方法

1. スキンをスキーに取り付けて下さい。
2. スキンの滑走面にゴアテックス®スプレーを少量ずつ均一にスプレーして下さい。1回のスプレー量が多すぎると接着剤を傷めますので注意して下さい。
3. 重ね塗りは10分間の乾燥時間をおいて行って下さい。スプレーが完全に乾いたらスキンをスキーから取り外し、折り畳んで保管して下さい。
4. 湿度が高い場所でスキーを使用するときは多めに重ね塗りして下さい。乾燥した場所で使用するときには重ね塗りの必要はありません。

STSシステム

STSシステムは広い調整範囲と強い固定強度が特徴の装着方式で、スキンをスキーにしっかりと固定し、はがれることを防ぎます。

トリム作業について

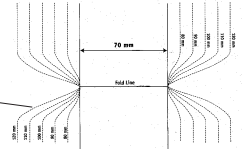
スキンのトリム作業には15~20分の時間が必要です。あらかじめトリム作業を済ませてからツアーに出かけて下さい。トリムの手順は後述の「スキンのトリム方法」を参照して下さい。

スキンの長さ調整

1. 滑走面を上にしてスキーを置き、その上台紙を貼った状態のスキンを載せて下さい。スキンの末端位置は、スキーのテルカムから約7.5~10cm内側に合わせて下さい。
2. スキンの取り付けループをスキーの先端にセットし、取り付けループとスキンが重なる位置に印を付けて下さい。その位置がスキンの折返し位置(Fold Line)となります。
3. 手順2で付けた印から先端側に向かって約7.5~10cmの

位置に印を付け、スキンをカットして下さい。

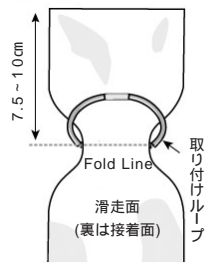
4. 付属(幅80mm以上のスキンの)テンプレートをご自分のスキンの幅が書かれた点線に合わせて切り抜いて下さい。スキンの折返し位置とテンプレートのFold Lineとを合わせてテンプレートをスキんに貼り、切り抜いたテンプレートに沿ってスキンをカットして下さい。



スキンの幅が120mmならこの点線に沿ってテンプレートをカットする

5. スキン先端の台紙を剥がし、

図1



スキンのトリム方法

1. スキンの取り付けループをスキー先端にセットし、テルカム側に向かってスキンを取り付けて下さい。この時スキンとスキーの中心線がずれないように注意して下さい。
2. 図2のように、テルカムをスキーのテルカムにセットして下さい。スキンのテンションはクラッチストラップがわずかに伸びるくらいが適正です。スキンが切れてしまいますので強いテンションを掛けしないで下さい。

図2

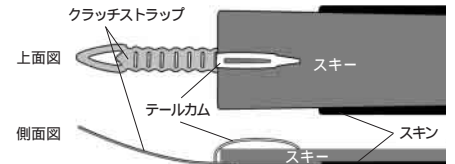


図3



図4

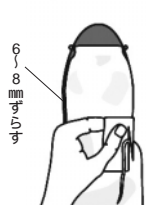


図5



3. 図3のように、同梱のトリムツールでスキン側をトリムして下さい。スキーの金属エッジに沿ってトップからテルム側に向かってトリムして下さい。
4. 片側のトリムが終わったらスキンを一旦剥がし、トリムした側からスキーの金属エッジとベース部分が露出するよう6~8mmずらして貼り直して下さい。
5. 図4のように、スキンのトリムしていない側をトップからテルム側に向かってトリムして下さい。
6. 両側のトリムが終わったら、スキンとスキーの中心線を含ませ、スキンを貼り直して下さい。図5のように、スキンはスキーのサイドカット通りにトリムされ、スキーの金属エッジが露出している状態になります。

テルフリーシステム

スキンの長さ調整

1. 滑走面を上にしてスキーを置き、その上台紙を貼った状態のスキンを載せて下さい。スキンの末端位置は、スキーのテルカムから約5cm内側に合わせて下さい。
2. スキンの取り付けループをスキーの先端にセットし、取り付けループとスキンが重なる位置に印を付けて下さい。
3. 手順2で付けた印から先端側に向かって約7.5~10cmの位置に印を付け、スキンをカットして下さい。
4. 図7aのテンプレートを使い、スキンの折り曲げ部分をトリムして下さい(STSシステムの項参照)。
5. スキン先端の台紙を剥がし、スキンを取り付けループに通して下さい。図1のように手順2で付けた印の位置で折り曲げ、接着面どうしを貼り合わせて下さい。
6. トリムの手順は前述の「スキンのトリム方法」を参照して下さい。

テルキットの取り付け

別売のテルキットを取り付けてテルフリーシステムからSTSシステムに変更が出来ます。注意：テルキットの強度はリベット止めの強度によるため、ご自分でテルキットを取り付ける場合、ブラックダイヤモンド社は金属プレートの強度のみ保証します。テルキットの取り付けは信頼のおけるショップに依頼されることをお勧めします。

必要なもの

テルキット、グライドライトスキン、丸頭ハンマー(もしくはフィニッシングハンマー)、長さ9cmの釘(もしくはパンチ)、リベット、木片、金敷き、カッターナイフ

1. スキン末端の台紙を剥がして下さい。
2. 図6のトリムラインを参照してスキンのテル部分のカッターで切り取って下さい。この時トリムラインの内側まで切らないように注意して下さい。スキンが傷み、裂けやすくなります。

図6

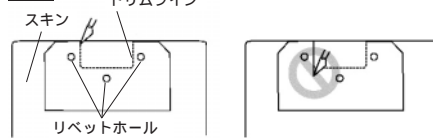


図7a

3. 金属プレートをスキンの接着面の上に置いて下さい。この時金属プレートの長い直線部分とスキンの末端をぴったり合わせ、金属プレートがスキンの左右の真ん中になるように置いて下さい。接着面を上にしたスキンを木製の台座に載せ、金属プレートの3つの穴に釘を挿入し、ハンマーで叩いてリベット用のガイドホールを開けて下さい。釘が貫通した状態でスキンを揺り動かし、リベットが通る太さに穴を広げて下さい。ガイドホールを開けたら釘は取り外して下さい。
4. 図7a・b・cのように、リベットをスキン滑走面側の金属プレート、スキンのガイドホール、接着面側の金属プレート

図7b

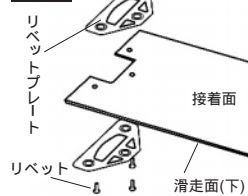
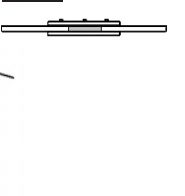


図7c



7. 図8がプレートのリベット止めた状態です。
8. 図9のように、クラッチストラップを金属プレートの穴に差し込み、プレートどうしの隙間に通して下さい。
9. テルキットの取り付けが終わったら、前述の「スキンのトリム方法」を参照してトリミングを行って下さい。
10. もう片方のスキンにも1~9の手順を行って下さい。

警告

スキーは危険を伴う行為です。本製品をご使用になる方は、道具の正しい使い方と正しいスキーテクニックを習得する責任があります。本製品はスキー専用で設計されていますので、他のいかなる目的にも使用しないで下さい。誤った使い方をすると、死亡や重傷を負う可能性があります。

ブラックダイヤモンド日本総代理店

株式会社ロスタロー

〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折1386-6

TEL: 049-271-7113 (ユーザーサポート) FAX: 049-271-7112

e-mail: info@lostarrow.co.jp

REV: 2002/11